

館報



7月号

やまがた

No. 759

令和元年
(2019年)



働く姿

心をこめて……

畑中 恵子さん(上竹田)

第一生命保険で働いて10年になる恵子さん。

「お客さまになっていただいてから、お付き合いが長くなるので、先のことを考えて誠心誠意努めています。手続きなど迅速な対応をする中でお礼を言われた時や、感謝の言葉をいただく時が、この仕事をやっていて良かったと思います」と優しい笑顔で語ってくれました。

(7月9日 訪問宅にて)

告知板

公民館×地域おこし協力隊 共同企画

◆「じゃがいも収穫&バターづくり
じゃがバターを食べよう！」
開催します◆

地域おこし協力隊で畑をやっています。
畑で、じゃがいもを収穫して、生クリーム
からバターを作ってじゃがバターを食べま
しょう。夏休みの自由研究に！親子の思い
出づくりに！ぜひご参加ください。

日時 8月17日(土) 9時30分～12時00分

場所 トレーニングセンター 調理室及び
地域おこし協力隊の畑

対象者 村内在住者、村内にお勤めの方

定員 親子で8組(定員になり次第締切)

参加費 1組300円

持ち物 運動靴(長靴)、軍手、帽子、タオ
ル、畑での飲み物、エプロン、三
角巾(雨天の場合 カップ)
※畑では長袖・長ズボンがおすすめ
です。

申込先 教育委員会 ☎98-3155
※受付開始 8月1日(木)～

ラッパに思いを込めて

～松本消防協会ラッパ吹奏大会～



練習風景



6月26日(水)激励式



いざ本番!

7月7日(日)、塩尻市桔梗小学校校庭にて松本消
防協会ラッパ吹奏大会が開催されました。松本地
域の各市町村より選抜された消防団員(ラッパ隊)
が集まり、張り詰めた空気の中練習の成果を発揮
し全力を尽くして吹奏していました。
大会に向けて、昨年度から練習してきた彼らの
努力と団結は忘れられないものとなるでしょう。
今後も消防団活動をよろしく願います。



7月5日(金)、トレーニング
センター食堂にて消防団退
団者慰労会が行われました。慰
労会にあたり、下竹田分団前
副分団長の村上和幸さんから
今後の消防団の発展を願うこ
とばをいただきました。

消防団退職者慰労会



山すそ

今まで野菜が嫌い
だった。幼い頃は食
べていたのかもしれないが物心がつく頃
には、味噌汁、炒め
物など野菜が入って
いることに気がつけば全て除
いて肉など好きなものだけ食
べていては、両親にしかられ
兄妹には怒られていたことを
覚えている▼それがどうした
ことだろう今年には野菜を欲し
ている自分がいる。まさかま
さかと自分でも驚いているの
である。そんなこともあって
か、今年には家庭菜園に力を入
れて三月から畑の面倒をよく
みるようになった。(今まで
も作っていたが面倒見はよく
なかった)よくみるようにな
ると害虫駆除も熱心になった。
しかし害虫をつぶすのがあま
り好きではない。自分なりに
考えた駆除方法は、ペットボ
トルに捕獲して殺虫するやり
方だ。これが思いのほか功を
奏してじゃがいもは過去最高
の成長を見せ(まだとれてい
ないが)キュウリ、ピーマン、
スイカも調子は良さそうだ。
この間ナスがとれたので食べ
てみるとおいしいじゃないか
▼食べたい気持ちだけで頑張
った結果、成果が出た。野菜
は実は美味しい、決して年の
せいじゃない！

図書館からのお知らせ

※夏休みの「本であそぼ」企画
やさいでべったんスタンプあそび
新鮮な夏野菜がたくさん採れる季節です。いろいろな野菜を切って、布バッグにペタペタスタンプして、マイエコバッグを作ります。

日時：8月10日(土)10時～12時
場所：トレーニングセンター
ふるさと大ホール

材料費：200円
定員：20名(幼児は大人と一緒に参加してね)

申込先：山形村図書館 ☎98-3155

※お盆中の開館時間のお知らせ

13日(火) 9時～17時
14日(水) じゃんずらのため休館
15日(木) 9時～17時
16日(金) 9時～17時

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK No.42
編集＝山形村図書館

伝承館とのコラボ企画
『祈りのかたち展』好評でした

6月4日(火)から23日(日)まで展示されたのは、昔の人々の切なる祈りのこもった品々でした。

上竹田の穴観音に納められた絵馬は、綿を布で包んだおっぱいのかたちを模していました。若いお母さんが、「お乳の出が良くなるように」と願ったのでしょうか。鼻緒がぷつぷつりと切られた草履は、それを履いてお嫁入りした花嫁さんが、未永く一緒に暮らしてくれることを願ったものでした。

清水寺に並柳村の住人から奉納された色鮮やかな絵馬は、蚕糸業が盛んだった頃の暮らしぶりを伝えてくれています。当時、清水寺の鐘の音は、東山の方まで響いたのでしょうか？

縄文時代の祈りの象徴「土偶」や、村の宝に指定されている美しい緑の大珠など、村の出土品も

つくり見られる良い機会となりました。
むかしのお嫁入りの様子や、子どもがはしかにかかった時の「疱瘡流し」などを再現したドラマが作られています。DVDになつて図書館で貸し出しています。



「明橋先生のお話よかつたね」講演会の感想が届いています

6月1日(土)、ミラ・フード館で子育てカウンセラーの明橋大二さんの講演会が行われました。村内の「モモの会」主催・山形村共催で、とても盛況でした。
明橋大二さんのロングセラー「子育てハッピーアドバイス」シリーズは、育児にかかわる大人たちに



根強い人気があります。

最新作『HSCの子育てハッピーアドバイス(1万年堂出版)』は、HSC(ひといちばい敏感な子、Highly Sensitive Child)の略)に寄り添った内容になっています。
図書館でも「子育て本コーナー」に置いてあります。

夏休み企画

「たくさんのおふしぎ」フェア

7月23日(火)～8月31日(土)

『たくさんのおふしぎ』は身の回りのあらゆるふしぎに迫る科学本です。自然や人間の生活、歴史・文化、算数、哲学まで、テーマはさまざま。第一線で活躍する研究者や専門家が小学生向きにやさしく解説しています。夏休みにじっくり読んでみませんか？大人の入門書としても最適です。
この世界にあるたくさんのおふしぎに出会いましょう。

おすすめ新着本紹介

『ドーナツのあなのはなし』
パット・ミラー(廣済堂あかつき)

ドーナツってどうして穴があいているのか知ってる？愉快な語り口と絵で描く、ドーナツ誕生の物語です。



『髪がつかぬ物語』

別冊 芳子 (文研出版)

長く伸ばした自分の髪を寄付する「ヘアドネーション」という活動があります。髪は「医療用ウィッグ」として使われるのです。自分の髪を寄付する子どもたち、ウィッグを受け取る子どもたちの思いにせまります。



『プラスチック・フリー生活』
シャントル・プラモンドン (NHK出版)

プラスチックに添加されている化学物質を知り、プラスチックの日用品を8割近く減らす工夫がいっぱいです。



『お抹茶のすべて』
桑原 秀樹(誠文堂新光社)

宇治抹茶問屋4代目が教えるお抹茶の歴史や生産方法、味わい方まで紹介します。お茶室を舞台にした映画DVD『日は好日』(大森立嗣・監督)もあわせてどうぞ。



救いたい命 救える命

7月5日(金)、小学校にてPTA救急救命講習会が開催されました。この講習会は、水泳シーズンを迎えるにあたり、水の事故に対する救急救命の技術を習得することを目的として行われ、心肺蘇生法やAED使用法などを学びました。実際に起きてしまった事故の話も聞いた後、参加された保護者全員が、胸骨圧迫のやり方を実際に体験しました。参加者より多くの質疑も出て、充実した講習会となりました。



6月末よりオープンしたB&Gプールが好評です。梅雨空でジメジメした日が続いていた7月15日(月)の海の日には無料開放が行われ、子どもたちや一般客が多く訪れて歓声を上げていました。これから夏本番に向けてぜひB&Gプールをご利用ください。

第25回山形村ソフトバレーボール大会

7月7日(日)、トレーニングセンター体育館にて第25回山形村ソフトバレーボール大会(4人制)が行われました。遠方からは新潟県糸魚川市からの参加を含め、村内外全14チームが熱戦を繰り広げました。



土器?クッキー?!

7月13日(土)、トレーニングセンター食堂にて、縄文土器の形をしたクッキーを作るイベントがあり、14名が参加しました。村から出土した土器が県宝に指定されたことを受けての企画で、クッキー作りの他にも実際に土器に触れて学ぶ勉強会もありました。大人も子どもも個性的なオリジナルクッキーを作り、味も好評でした。



地域おこし協力隊の穴澤さんに作り方を教えてもらいました。



見た目は土器そのもの!!

アやまがた夏祭り

7月13日(土)、特別養護老人ホームピアやまがたで夏祭りが催されました。ジャグリングや太鼓の演奏などのステージ発表や、焼きそばやアイスなどの振る舞いがあり、利用者は訪れた家族や職員たちと笑顔のひと時を過ごしていました。



ラベンダー摘み取り体験

ミラ・フード館では、今年もラベンダーの摘み取り体験を行いました。ラベンダーの花が見頃を迎えたこの日も、小学3年生が訪れ、楽しそうに摘み取りをしました。学校に持ち帰り乾かすと、とてもいい香りが辺りを包んでいたそうです。



猫友会慰霊祭

7月14日(日)、鷹の窪自然公園にて、猫友会の慰霊祭が行われました。午前中は射撃の講習会、午後は公園の清掃を行い、慰霊祭では狩猟により亡くなった動物たちに手を合わせ、祈りを捧げました。



いちいの里 健康遊具体験 レポートPART I

保健福祉センターいちいの里の敷地内に、健康遊具が設置されているのをご存知ですか？村民が生き生きと健康で元気に暮らせる村づくりの取り組みのひとつとして、平成29年10月に5つの健康遊具が設置されました。

今回は、スポーツ推進委員の皆さんにご協力をいただき、実際に健康遊具を体験した感想などをまとめてみました。今月号では、2つの遊具についてのレポートです。

①背のばしベンチ

準備運動を兼ねて、まずは背中を押すツボが付いたベンチで、背板のカーブに沿って背中を反り、背筋を伸ばしましょう。

背筋のストレッチと肩の柔軟性アップに効果があります。



『ツボが痛いけれど気持ちいい』『ツボがなくても効果あり』座って背筋を伸ばすだけでもいいみたいです。

②ふみいたストレッチ

片足を踏み板にのせて、ひざや足首が大きく曲がるように体を引き寄せます。足首、ひざ、股関節の柔軟性アップに効果があります。



『ふくらはぎから太腿が伸びる』『横向きでやると股関節の伸びをより感じる』『低い板でやる方が伸びを感じる』などの声の他に、写真のように二人同時にやることもできる遊具です。

また、体を使うだけでなく頭も使いながら、いろいろなやり方を考えてみましょう。左の写真は題して『コアラのポーズ』



いちいの里にお出掛けの際は、是非とも健康遊具を体験してみましよう。

下大池区民の集い

6月22日(土)、なろう原公園にて下大池区民の集いが行われました。雨も心配されましたが持ちこたえ、過ごしやすい気候の中、約50名が参加しマレットゴルフを楽しみました。

終了後は下大池公民館に移動し、バーベキューを行いました。親睦を深めていました。



下竹田バスハイク

リニア鉄道館・名古屋城の旅
6月30日(日)、下竹田分館バスハイクがありました。当日はあいにくの雨でスタートしました。リニア鉄道館に着く頃には雨が上がり蒸し暑いところへ冷房の効いた鉄道館での電車見学、参加者は鉄道オタクじゃなくても楽しんでいました。

また、昼食後は名古屋城にて観光にお買い物と楽しい1日を過ごしました。



公民館勉強会

7月3日(水)、トレーニングセンターふるさと大ホールにて山形村公民館勉強会が行われ、本館役員、各分館役員など50数名が参加しました。

前山形村公民館長の中村則光さんから「魅力ある公民館活動について」また、山形消防署高橋署長補佐からは「地域ぐるみの防災について」の講演をいただきました。

最後に、現在4名で活動されている山形村地域おこし協力隊の皆様



山形消防署
高橋署長補佐



中村前公民館長

さんの紹介もありました。参加された方が熱心にメモを取られている姿が印象的でした。

人権教育推進委員会講演会

6月27日(水)、トレーニングセンターふるさと大ホールにて、「インクルーシブ マインド (共生心)〜東京オリパラと「副学籍」の目指すもの〜」と題し、伊那養護学校の渡辺孝次先生を講師に迎え講演会が行われました。

20年前の長野オリンピック・パラリンピックと来年行われる東京オリ・パラの違いと20年の間に起こった変化や、「子どもたちの学



校在籍のあり方」「特別支援学校に行きながらも、地元の学校に副学籍できる『共に生きる学校』など障がいも何も関係ない世の中への共生心について考える講話が聞けました。

ピアやまがた防災訓練

7月3日(水)、特別養護老人ホームピアやまがたにて、防災訓練が行われました。

上竹田四ツ谷西連絡班の皆さんや、近隣住民の皆さんが参加して、厨房から火災が発生したとして利用者の避難誘導を行いました。



消防団上竹田分団の隊員による消火栓の取り扱い方や消火器の取り扱い訓練も併せて実施しました。参加された方は、「自分も歳をとって、足手まといになるかもしれないですが、より多くの人が参加しなければいけないと思えてきます」と話してくれました。

ピアやまがたに限った話ではないですが、夜間は職員数も少なくなる為、近隣の方の協力がなければ利用者の皆さんを救うことはできないでしょう。近隣の方のみならず、村全体で協力して、いち早く避難誘導ができるように、村民の皆さんの心構えも必要だと思えました。

ラベンダー小物づくり

6月30日(日)、ミラ・フード館にてラベンダー小物づくり教室が行われました。

川上ひろ子さん(下竹田)を講師にお招きして、「ラベンダーステイック」と「花かご」の作り方を学びました。



皆さん手に集中しています

この日は松本市や安曇野市など村内外から約30名が参加し、25本を一組にしたラベンダーを一本ずつ丁寧に織り込み、小物を作っていました。

参加された皆さんはとても熱心で、積極的に質問をしながら、かわいい小物を完成させ

ていました。場内は熱気とラベンダーの香りに包まれていました。講師をされた川上さんは「摘み取り出来るラベンダーもあるので、もつと村内の方にも興味を持ってもらえたら」と話してくれました。



かわいくできました！

おめでた(子・親)

- 塩原 沙奈・幸司 真南実、上竹田
- 上條 瑛基・竜典 由香子、中大池

おくやみ

- 二枝 好子・95歳・小坂
- 中村 浪二・88歳・中大池
- 湯澤 東平・77歳・上竹田
- 百瀬 赫・75歳・下竹田
- 堤 琴江・95歳・小坂
- 古川はつみ・92歳・上竹田
- 倉沢 年子・99歳・小坂
- 青沼 始子・97歳・上竹田

山っこ全国へ!!

小島 匠士郎くん (下竹田)



道大会への出場が決まりました。

6月23日(日)、第24回長野県少年・少女柔道チャンピオン大会が開催され、小学6年男子50kg超級で見事1位! 8月に開催される第16回全国小学生学年別柔道大会への出場が決まりました。

「一つでも多く試合が出来るよう、頑張りたいです!」

「ハードルは13秒台、高跳びは120センチを目標として頑張ります!」

長村 梨夢さん (上竹田)



6月23日(日)、第36回長野県小学生陸上競技会が開催され、女子コンバインドA(80Mハードル&走り高跳び)で見事6位入賞! 8月に開催される第5回東海小学生陸上競技大会への出場が決まりました。

小学校音楽会

6月21日(金)、小学校体育館にて、校内音楽会が開催されました。



6年生の貫録ある演奏

この日に向け練習を積み重ねてきた児童たち。ステージに上がった時の表情は真剣そのものでした。

楽しく、とても素晴らしい音楽会となりました。

山雅巡回指導

6月20日(木)、山形保育園にて、松本山雅のスタッフによる巡回指導が行われました。快晴の中、園庭で元気いっぱいサッカーを楽しみました。



4年生 間伐作業体験

7月1日(月)、上竹田にある学校林にて、木を切り倒してのこぎりを使い、枝や幹を切る間伐作業体験をしました。のこぎりを使うことが初めての児童がほとんどでしたが、声をかけたり、木をおさえたりと協力して行いました。檜ひのきは皮がきれいにもむけ、木のいい香りを感じることができました。



5年生 海の学習

7月11日(木)~12日(金)、愛知県に海の学習に出かけました。荒天となり、予定を変更した内容とはなりましたが、初めての宿泊行事ということもあり、楽しい学びの時間となりました。



生きたタコを触ることができました!

お知らせ

館報では、大会などで好成绩を残した子ども(高校生まで)を出来るだけ載せたいと考えております。連絡頂ければ、編集部員が取材にお伺いします。自薦他薦は問いません。お気軽にご連絡ください。公民館 ☎ 98-3155 まで



絆

KIZUNA



“好き”に境界はない! フットサルクラブ Free-For-All



Free-For-Allはふれあいドームを拠点に週1でフットサルを行うクラブで、その名の通り、年齢や性別を縛らず全ての人に門戸を開いている。しかも事前登録などは一切なく、気が向いた時に飛び込みでプレーできるといって驚きだ。

「名前も知らない参加者が多くなってきたよ」と話してくれたのは、2003年の発足以来、まとめ役を一手に担ってきた中村満さん(中大池)。「若い人たちと一緒にボールを蹴りたい!」って一心で毎週続けてきたけど、16年間で中止になったのは1、2回しかないんだよ」と誇らしげに語ってくれた。某サッカー大国では一緒にボールを蹴つたらもう仲間!という文化があると聞いたことがあるが、きつとこんな光景なのだろうと勝手に納得してしまっただ。フットサルが好きという気持ちだけで集まれる、こんな絆も良いと思う。

あみ 横水 杏実さん

下竹田
ふたご座



井上 健斗さん

下大池
さそり座

一生懸命

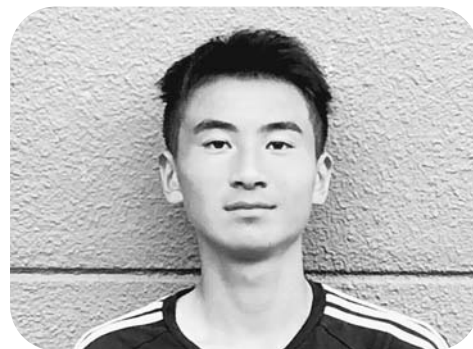


「将来の目標は、しっかりと決まっていなくても、人を笑顔や幸せにできる仕事に就きたいです」と、始まったばかりの高校生活を満喫中です。

この4月から高校生になった杏実さん。小・中学生の時から続けている陸上部に在籍し、先輩たちのように活躍できる選手になるために日々練習に励んでいます。陸上のほかに熱中していることはギターを弾くこと。「お父さんにギターを教えてもらい、いろんな曲を弾くのが楽しいです」と話してくれました。気分転換もバッチリです。

「2年生の時は骨折して出て出ることが出来なかった高校選手権大会に出場して、去年の分まで頑張りたいです!」と話してくれました。怪我無く最後まで走り切ってほしいです。

力戦奮闘



小学校2年生の時に友人に誘われてサッカーを始めた健斗さんは、現在高校3年生。小学校・中学校とサッカー部のキャプテンを務め、後輩たちからも慕われる存在で、今でも時間が合う時は、中学校サッカー部の応援に駆けつけているそうです。